

平成17年8月分電力需給状況

需要の概要

平成17年8月の販売電力量は、26億4千6百万kWh時、前年比 102.1%となった。

〔需要の内訳〕

家庭用などの「電灯」は、7月の気温が前年に比べ低めに推移したことによる冷房需要の減少などから、前年比 99.3%となった。

事務所ビル・大型商店などの「業務用電力」は、8月の気温が前年に比べ高めに推移したことによる冷房需要の増加などから、前年比 103.6%となった。

産業用の「大口電力」は、紙・パルプ、化学、鉄鋼、機械における生産増などから、前年比 107.2%となった。

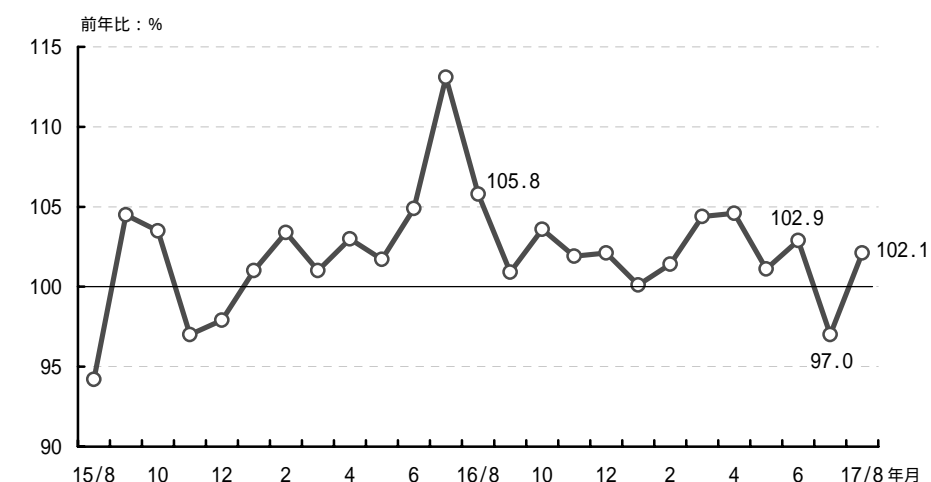
需要実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比
特定規模需要 以外の需要	電 灯	889	99.3
	電 力	237	96.5
	計	1,126	98.7
特定規模需要 (自由化対象)	業務用電力	642	103.6
	産業用電力	878	105.6
	うち大口電力	(643)	(107.2)
	計	1,520	104.8
販売電力量 計		2,646	102.1
融 通		692	90.6

注1. 特定規模需要とは、特別高圧電力および高圧電力の合計で自由化の対象。
 2. 17年4月より自由化範囲が拡大されたことに伴い、16年度以前の需要区分と一部異なる。
 前年比は、前年同月の実績を現在の区分に合わせることで算定した。

(参考1) 販売電力量の前年比の推移



大口電力の主な産業別内訳

(百万kWh時、%)

	電力量	前年比		
		17/8月	17/7月	17/6月
紙・パルプ	104	107.8	104.6	107.8
化 学	129	106.1	99.3	105.5
鉄 鋼	76	126.4	123.8	105.0
機 械	138	105.7	101.1	104.9
そ の 他	196	102.5	97.9	99.8
合 計	643	107.2	102.5	104.0

(参考2) 4県都平均気温

	17/7月				17/8月			
	上旬	中旬	下旬	月平均	上旬	中旬	下旬	月平均
実 績	24.8	27.8	28.5	27.0	28.7	28.7	26.4	27.9
平年差	0.5	1.3	1.0	0.5	1.0	1.3	0.6	0.6
前年差	3.1	1.2	0.8	1.7	1.3	0.8	1.1	0.3

供給の概要

- 原子力は、前年比 99.1%となった。
- 水力は、渇水により前年比 33.1%となった。
- 以上の結果、火力は、前年比 122.3%となった。

供給実績

(百万kWh時、%)

		電力量	前年比	備 考
原子力	(41)	1,514	99.1	出水率 34.4% (16年8月出水率 141.2%)
水 力	(5)	177	33.1	
火 力	(54)	2,046	122.3	
発受電計	(100)	3,737	100.0	
その他		69		
供 給 計		3,668	99.9	

注.()内は構成比

(参考3) 各県別の需要状況

(百万kWh時、%)

	徳 島	高 知	愛 媛	香 川
販売電力量計	(105.9) 596	(99.9) 453	(101.0) 908	(101.8) 689

注.()内は前年比